

2023 - 24 年度 国際ロータリー会長テーマ
『世界に希望を生み出そう』
RI 会長 ゴードン R. マッキナリー

川崎北ロータリークラブ会長テーマ
『希望と夢を、ロータリーから！』
会長 帯谷 昌充



川崎北ロータリークラブ会報



会 長 帯谷 昌充

幹 事 妻鹿 琢生

会報委員長 大塚 正一

事務所：〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104 TEL 044-722-8037 メール：knrc@nifty.com

URL：http://kawasaki-north-rc.blue.coocan.jp/

例会：毎週水曜日 12：30 二子玉川エクセルホテル東急

第 3047 例会

令和 6 年 2 月 28 日 (水)

(本年度第 26 回)

点 鐘

帯谷昌充 会長

司会と斉唱

峯岸雅宏 副会場監督

半澤剛 ソングリーダー

「それでこそロータリー」

出席報告

宮崎秀樹 出席委員長

会員数 45 名	出席 24 名	欠席 21 名
(対象外 5 名)		出席率 60.00%
前々回訂正	欠席 16 名	MAKE UP 2 名
(対象外 4 名)		訂正出席率 75.61%

お客様紹介

帯谷昌充 会長

ゲストスピーカー ご同行

公益財団法人川崎市国際交流協会

常務理事・事務局長 北沢仁美 様

ゲストスピーカー

公益財団法人川崎市国際交流協会

交流事業課長 島田秀雄 様

妻鹿会員ゲスト

不動産管理 宮尾大樹 様

黙 禱

川崎北ロータリークラブ元会員 甲田博康様 (享年 88 歳) が
2 月 10 日にご逝去されました。
昨年 9 月末まで 51 年という長きにわたり当クラブに在籍され
ロータリーの職業奉仕について熱くご指導いただきました。謹
んで哀悼の意を表し心よりご冥福をお祈り申し上げます。
なおご葬儀はすでに親族のみにて執り行われ、後日お別れの
会を開かれるとの事です。

会長報告

帯谷昌充 会長

1. 地区より、「2024-25 年度地区ラーニング協議会」ファシリテーターの委嘱状が届きましたのでお渡しいたします。
・クラブ管理運営部門ファシリテーター：大塚正一会員
宜しくお願い致します。※ 2/27 打合せ会
2. 第 5 回会長・幹事会開催のご案内が届いております。
幹事クラブ：川崎中原 RC
日時：2024 年 3 月 21 日 (木) 18：00 ～ 場所：武蔵新城「徳山」
3. 寄付の表彰品が届きましたのでお渡しいたします。
◇ R 財団寄付金
・ベネファクター認証状と襟ピン (ウィング)：帯谷昌充会員
・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 襟ピン：
齊木 貴会員 +7、波木井輝昭会員 +3、柳澤信夫会員 +2、
横山芳春会員 +2、峯岸雅宏会員 +1
・ポール・ハリス・フェロー認証状と襟ピン：星野妃世子会員

◇ R 米山寄付金

- ・第 70 回米山功労クラブ
- ・米山功労者マルチプル感謝状：川野正久会員 (55 回)、
小澤秀昭会員 (12 回)、宮崎秀樹会員 (9 回)、半澤剛会員 (6 回)、
小林政男会員 (6 回)、大塚正一会員 (3 回)
- ・米山功労者感謝状：末永 直会員

幹事報告

妻鹿琢生 幹事

1. 地区からの来信

- ① 会長エレクト研修セミナー (PETS) のご案内が届いております。
日時：2024 年 3 月 19 日 (火) 12：30-17：50
懇親会 18：00-19：30
場所：メモワールプラザソシア 21
※波木井会長エレクト、ご出席お願い致します。
- ② 地区ラーニング・協議会開催のご案内が届いております。
日時：2024 年 3 月 24 日 (日) 12：30-18：00
懇親会 18：15-19：30
会場：聖光学院中学・高等学校
※出席義務者：次年度の会長・幹事・ラーニング・会員増強・公共イメージ・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・ロータリー財団・米山記念奨学の各委員長
※当日は、石坂次年度幹事に、クラブからの出席者全員の名札・資料等を受け取っていただきます。
石坂様、受け渡しの時間・場所など、ご参加の方にお知らせをお願い致します。
- ③ 地区 社会・国際奉仕委員会ホームページへのコンテンツ提供の依頼が届いております。
クラブ社会奉仕活動、国際奉仕活動内容について 300 文字以内・写真 6 枚まで

2. 他クラブ例会臨時変更

- 川崎麻生 RC
3 月 8 日 (金) 職場訪問「黄金井酒造」
3 月 15 日 (金) 休会
3 月 22 日 (金) 麻生川清掃とお花見例会 点鐘 17：00 柿生とん鈴
- 川崎マリン RC
3 月 21 日 (木) 休会
- 川崎中原 RC
3 月 21 日 (木) 移動例会 昭和音楽大学

委員会報告

松田卓也 親睦委員長

菅沼会員、横山会員、土田会員の今日の歓迎会について。

卓 話

公益財団法人川崎市国際交流協会
交流事業課長 島田秀雄 様

今日のテーマは、外国につながる子どもたちの現状と課題、副題として違いを豊かさに変えるための試みということで、主な柱は 3 つです。一つは、我が国の外国につながる子どもたちの現状ということで、国のデータを用いて少しご紹介いたします。また、取り巻く課題、そしてその課題解決に向けてどんなことが考えられるのかをお話しさせていただきます。

まず、今の川崎市の外国人市民の方々の現状について、1990 年

から現在まで約4倍という人口に膨れ上がっています。1990年の1万3000人、その約70%が在日韓国朝鮮人でした。それから入管法改正等もあり、右肩あがりでは現在5万人を超えています。川崎市の人口が150万人ですので、外国人は約3.2%に膨れ上がっています。

令和4年度の文部科学省のデータでは、多様化の進展ということで、外国人児童生徒の母語で一番多いのは、ポルトガル語です。これは日系ブラジル人の方が多いということです。その次に多いのが中国語、フィリピン語、スペイン言です。

次に公立学校における日本語指導が必要な児童生徒数ですが、今、小中高の公立学校に児童生徒は約13万人います。そのうち、公立学校に11万人、残りの約1万は外国人学校、あとの1万人は居所不明。就学しているかどうか分からない状況です。地域によっては、外国人児童生徒が住民登録しているにもかかわらず、そこまで追いかけて把握するような調査をしていません。外国の方々は義務教育ではないので、自治体もそういう政策を取らざるを得ない状況です。11万人の約半数、5万8千人が日本語指導が必要な子どもたちです。そのうちの1万人は日本国籍の児童生徒で、日本語の指導が必要な子どもたちです。なぜ日本国籍なのに日本語が分からないのかということですが、彼らは、父親が日本に出稼ぎに来て、生活のめどが立つと日本に呼び寄せられ、両親どちらかが日本人であれば子どもは日本国籍が取れるので、日常会話は1、2年すれば子どもでもできますが、学校教育の学習言語が分かるかと分かりません。日本国籍の子どもでも、日本語指導が必要だということで、川崎でも課題になっていると思います。日本語指導の現状はかなり多様化しています。川崎市だけで約140カ国の方が川崎市に住民登録していて、言語の数も大変な数になっております。

外国につながる子どもたちの課題は、まず彼らは日本に来たくて来たわけではないというのが一番大きな問題だと思います。父親が日本に出稼ぎに行き生活の基盤ができと呼び寄せられ、突然、たくさんいたであろう友達や親戚と離れて日本に来るしかなかった子どもたちがほとんどです。日本語が分からない、分からないから学校もつまらない、友達もいない、とすると外見で差別の対象になる、学校に行きたくなくなる、不登校になる子どもたちも大勢います。一番大事なのは、子どもたちにとってどういう状況が必要なのか、日本語の指導ができて学ぶ意欲を持たせることです。学ぶ意欲を持たせるためには、子どもたちの言葉をちゃんと聞いて、できたら褒めてあげる。子どもたちに寄り添って学ぶ姿勢をできるだけ押し上げる、そのような取り組みが必要だと思います。

また、親自身も将来日本にずっと留まるかどうか決めかねているところがあり、永住しようと思ってる人がいれば、より賃金の高いところに行った方がいいかなと思っている人もいます。そうすると、子どもたちは将来、他の国に行くかもしれないし、出身国に帰るかもしれない。それは親次第です。子どもが従属する限りは、未来を描けないという状況です。

外国につながる子ども達の不安は、まず親の失職です。例えば技能という在留資格があります。これはコックさんがそうですが、この不況下の中でクビになってしまうかもしれない、もし同じような職務につけなければ、在留資格がなくなってしまうので、海外、国外退去ということになりかねません。また、約4割は家族滞在です。就労ビザのある親の元にいる家族が家族滞在という在留資格になります。この一番大きい問題は、子どもが大人になっても28時間しかアルバイトができません。父親がお店を持っていても継ぐことはできません。もし家族滞在から変える場合は、17歳までに日本に来て高校を卒業して会社の内定をもらう、そうすると、定住ビザ、あるいは特定活動、この2つに切り替えることができます。初めて自立の道がそこで生まれます。ですので、高校を卒業するというのはとても大きい問題で、それをちゃんと理解して進学を進めていかないと、今後4倍ぐらいの外国人材を求めていると、今の日本の経済状況から後退していくという調査で出ていますが、将来有望な外国人材が底辺のアルバイトにしかならないという状況が待っています。

外国につながる子どもの親の不安は、一つはストック情報がない

ということがあります。ストック情報とは学校に関連すると、学校の通知で上履きを持ってきてください、とあっても、上履きは日本の文化であって、外国の方が上履きと聞いても何のことか分かりません。学校から言わせると忘れ物が多いのは外国人だとなるのですが、そうではなくて上履きの意味が分からないんですね。そういうきめ細かな日本文化に馴染みのない親たちにかんりの支援が必要だと思います。

次に、地域のつながりががないので、なかなか気軽に相談ができません。地域のネットワークの中にいかに外国人の親を巻き込むか、というのもとても大事な視点だと思います。また、両親が外国籍の場合、家庭では母語で会話をすることが圧倒的に多いですが、子どもたちは学校へ行くに従って日本語を学び、日本人のようになりたいと思っていると、母語との文化をどんどん喪失していきます。そうすると、2年後には母語をすっかりしゃべれなくなりますので、ちゃんと教えていかない限りは家庭内で共通する言語がなくなってしまいます。家庭の共通言語がなくなることで、親子の会話が成り立たなくなるという状況があります。

川崎市の小中学校での日本語指導体制について、現在の外国人児童生徒の数は1,530人です。日本語を必要としているのは1,081人います。川崎市は先進的な都市であり、外国人の子どもに対する学校教育は大きな支援があります。私たちが目指す外国につながる子どもたちの寺子屋の状況について、基本的には生活言語と学習言語の基礎的な学習支援を行っていますが、私たちが目的にしているのは特にありのままの自分であられる、居場所となるように、私たちはこども達に寄り添って学ぶ意欲の向上を目指しています。また、ボランティアで協力している方々にとっても、地域の中でそういう協力をすることによって自己実現と地域の協力を向上、そして多文化の共生の広がりを目指しています。

ニコニコレポート 加瀬健史 副会場監督

帯谷昌充 会長、大塚正一 副会長、妻鹿琢生 幹事

本日は国際交流協会からのお越しの北沢様、島田様にお話いただきます。また、ゲストの宮尾様もようこそお越しくださいました。本日もよろしくお願いたします。

社会奉仕委員会：半澤剛 君

本日の国際交流協会様の北沢様、島田様、卓話楽しみにしております。

親睦委員会：松田卓也 君、横山輝昭 君、土田高記 君、武藤光司郎 君、菅沼舜 君、横山芳春 君

本日は横山会員、土田会員、菅沼会員の歓迎会です。18時から肉バルガブリコ武蔵小杉店で行います。皆様のご参加をお待ちしています。今日は皆で楽しみましょう！

戸川俊雄 君

つらい悲しいことがありました。中原クラブの大場秀幸大僧上に大変お世話になりました。ありがとうございます。

柳澤信夫 君、洪征治 君、戸川俊雄 君、宮崎秀樹 君

三寒四温の言葉どおり、春は間近にせまっています。北クラブも明るく例会を楽しみましょう。本日は川崎市国際交流協会事務局 長 北沢様、交流事業課課長 島田様、ご来場ありがとうございます。卓話楽しみにしています。

SAA：峯岸雅宏 君、丸山久 君、松山直樹 君、加瀬健史 君

国際交流協会からお越しの北沢様、島田様、本日はよろしくお願いたします。ゲストの宮尾様、ようこそお越し下さいました。皆様のニコニコへのご協力本月もありがとうございます。

吉田宏宏 君、武田信平 君

いよいよJリーグが開幕、フロンターレは24日、湘南ベルマーレと初戦を戦いました。よく走り回る厄介な相手です。前半7分、相手フリーキックをクリアしたものの、こぼれを直接シュートされ失点。気を取り直して迎えた27分、脇坂選手の素晴らしいミドルシュートがゴール左上隅に突き刺さる。後半に入り56分、新入団のエリソン選手が相手のキーパーへのバックパスをしぶとく追いかけボールを奪取、無人のゴールに流し込み逆転。その後も両者無得点で終了。フロンターレは開幕戦を白星で終えることが出来ました。次節は今週金曜日、ジュビロ磐田と等々力で行われます。